

しょうらいのゆめ

# 将来の夢

future dream



岩井第二小学校 3年  
和田 侑大さん

ぼくのしょうらいの夢は電車の運転手になることです。  
きつかけは、最初に電車を見たとき、運転士さんがけいてきを鳴らしてくれたことです。その時、心の中から「カッコいいな。ぼくもなってみたいな。」と思いました。  
それから、鉄道の勉強をしました。列車の区間、駅、乗りかえ駅などを調べました。最近乗ったのは、「スーパービューおどり子号」です。熱海まで行きました。今度は下田まで行きたいです。



# ばいばいとママ

## 短歌

ネクタイを選んで息子職場へと見送る路に紅葉彩る

【評】 若い息子さんを見送る朝の情景が素敵である。結句の季節感も詩情を深くしているとともに、母性愛過度の感情を抑える役目を果たしている。息子でなく夫では平凡な歌であろう。

青深き空のカンバス熟柿の自在に描き百舌の高鳴く  
現世の淀みを一掃せるとし秋空高く澄み渡りたり  
多弁なる米寿の従姉を残しきて帰路急ぐ空に大き弧の虹  
掠れ字をなぞる手許はたつぷりの液持つペンに替えて進行  
カーテンを通り抜け来る午後の陽が本読むわれに眠気を誘う  
両親は五十一・二で天国へわれ金婚式うれしすまない  
秋生りの果物好きな亡き夫の遺影に甘柿二つ供える  
清々し蒼穹の下丸菊の並ぶ黄の前にしばし佇む  
好天に仕事を休み孫連れて赤・黄鮮やか笠間の菊見

## 俳句

二歳児の指が大好き赤とんぼ

【評】 蜻蛉が俳句の季語として詠まれるようになったのは古く芭蕉の時代といわれています。小さな指先に来ては止まる赤とんぼ、秋のおだやかな日和が見えます。

拍手の赤く愛しや七五三  
しばらくは現世遠し秋の滝  
八千の将門マラソン菊日和  
北風や人影も絶え九十九里  
ひとり言部屋に散らばる寒さかな  
竹垣に絡みし花や秋深し  
つれづれにむかご飯など炊きにけり  
槍の行く千人行列秋高し  
踏まれても野路をいろどり草紅葉  
身心の疲れ紅葉に癒しけり  
命日に嫁の供へる菊白し

今井 清 選

林 秀峰 選

長須	吉沢とみ江	辺田	風見 浩美
借宿	木村 歌子	沓掛	木村 愛子
生子	鹿野谷 環	沓掛	倉持かよ子
岩井	林 きよ子	逆井	内海 妙子
岩井	中川 達男	山	栗原やエ子
沓掛	木村 民子	長須	倉持 春子
生子	高島 恒夫	長須	野口 芳子
山	中山 みね	小泉	染谷千代子
矢作	米島 欣司	みむら	倉持とよ子の
辺田	押川まつえ		
辺田	風見 浩美		
長須	野口 芳子		

短歌・俳句の作品を募集します！  
皆さんからの短歌や俳句を広く募集します。投稿されるかたは、住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、毎月20日までに届くように各選者宛にお送りください。  
選者 短歌 今井 清 〒306-0604 幸田新田435 ☎0297(35)2864  
俳句 林 秀峰 〒306-0631 岩井4633-1 ☎0297(35)1230